



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-20年度
国際ロータリー会長
シエカール・メータ

第2600地区ガバナー 桑澤 一郎

国際ロータリー 幹事報告

上田六文銭ロータリークラブ

Rokumonsen Rotary Club

【事務局】〒386-0025 長野県上田市天神4-24-1 上田東急REIホテル 3F
TEL 0268-25-6000 FAX 0268-25-6002 <http://www6.ueda.ne.jp/~ueda6rc/>
《例会日》毎週火曜日 12:30~13:30 《例会場》上田東急REIホテル 2F 《創立》1997年2月18日

●会長 山崎 芳雄 ●幹事 清水 一典 ●会報委員長 北村 久文 ●副委員長 山田 豊 ●委員 宮原 宏一 / 伊藤 豪

例会日誌

- 司会 吉田 穰君
□開会点鐘 山崎 芳雄君
□会員近況挨拶 進行 幹事 清水一典君

会長挨拶

『何時まで続くコロナ禍』

会長 山崎 芳雄君

一昨日でまん延等防止重点措置も長野県は解除されました。何処がどの様になるかは私には良く分からないのですが、いずれにせよコロナ禍の第6波の中にある事には違いはなく、引き続き感染対策をしっかりやって行こうと思います。

まだまだ日常生活もステイホームが基本となる生活が続く事と思いますが、外出にしろ、旅行にしても2年もコロナ対策の制約に縛られ自由に出来ない事を普通に感じてしまう感覚にこれで良いのかと考えられる事が時々あります。

アクリル板で遮られ、口をマスクで覆い、ソーシャルディスタンスを取らなくても良い生活が一日でも早く来て欲しいものです。

私はコロナ禍が始まる前は60歳台でしたが昨日で72歳になってしまいました。長い様で短い2年間でしたが鮮明に記憶に残る事はクラブの会長になった事ぐらいです。自分ではまだ呆けは入ってはいないと思いますので思い出せば思い出せるのですが、旅行や宴会等刺激となる記憶が少なかったからだと思っています。

私は、昭和25年の五黄の寅年生まれで、36

年に一度ですので2回目の五黄の寅年を迎えることになりました。

先日自分の生まれた年に何が有ったのかインターネットで調べましたら、政治、経済、世相等々こと細かに書いてありました。

生まれたばかりですので絶対に覚えてはいないのですが、後々に出てくる話題がこの年にあったのかと納得のする話題も書いて有りました。

例えば、当時の池田勇人大蔵大臣が“貧乏人は麦を食え”と言って騒動になったとありました。私の生まれた時代では麦は差別用語で米に変わる貧しい者の食べ物のとされていましたが、現代では全く異なり麦は健康食品なので麦を沢山食べましょうとなっていますので不思議です。

当時最高額の紙幣の千円札（聖徳太子肖像）の発行もこの年で時代の背景が書かれていて非常に面白いので是非自分の生年月日を入力し検索を試みてください。

コロナ禍の中ステイホームの時間つぶしには面白いと思いました。

幹事報告

清水 一典君

- RI より
 - ・ROTARY 3月号
 - ・財団室ニュース 3月号
 - ・『水と衛生月間』リソースのご案内
 - ・2022年3月 Rレート 1\$=116円
 - ・ロータリー全国囲碁大会のご案内
- ロータリーの友事務所より
 - ・事務所対応の件
- 地区事務所より
 - ・米山奨学生受入れ御礼
- 飯島伴典君より
 - ・マニフェスト



出席報告



	ベース	欠席	メイク	出席率
本日	22	8	0	63.64%
前々回	23	6	1	78.26%

プログラム



会員卓話

『合原とガリレオとソーラーシェアリング』

合原 亮一君

まず自分のことから。生まれは広島ですが、6歳までなのでよく覚えていません。両親は九州で、県境を挟んで福岡県大分県出身です。佐藤さんと前さんだったのですが、父方の祖母が女系で男がいなかったの、次男に合原の姓を継がせる約束で結婚したそうです。父は四男ですが、戦争で亡くなったり行方不明だったりして合原を継ぐことになったそうです。合原の起源は大分県の日出町です。日出町？と思うでしょうが、麦焼酎の二階堂があるところです。

小学校からは東京で、就職するときに川崎重工で神戸勤務になりました。7年神戸にいて、アメリカで勤務しました。

上田に来る前はアメリカで環境問題の研究をしていました。環境問題と食料問題が専門です。食糧供給力のグローバルモデルで論文を書いたのですが、日本では「家事としての農業」が必要になるかとも思い、検証するために有機農業の先生がいた上田に引っ越しました。家も自分で作ってペチカを自作して主暖房は薪です。当時は就農に厳しい規制があり、とりあえずインターネット技術のガリレオに協力しているうちに社長になってしまいました。

趣味はお酒で、これまでに4種類の純米酒を酒蔵に作ってもらいましたが、家の近くの若林醸造さんが、製品として作りたいと言ってきて、月吉野の辛口純米は合原が作った酒米から作られています。今年のお酒ができたので、今日も持ってきました(見せる)。



さて、最近ではガリレオの仕事の1/3ぐらいはソーラーシェアリング(SS)です。もともとインター

ネット屋さんでキーボードしか打ったことがない人たちが大きなものを作ることになったので、いろいろ苦労しましたが、今は工事や電気の資格も取得できるようになりました。

菅前総理が国際公約したおかげで、日本では大企業がゼロカーボンに向かい始めていて、小さなガリレオにも問い合わせが来るようになりました。ガリレオのSSはIoTで制御していて、サーバー側から監視してデータも蓄積しています。やっと本業と環境問題と農業と一緒にできるようになりました。

ゼロカーボンには太陽光以外では達成できません。陸上風力もありますが、設置に時間がかかるし長野県では不経済です。小水力やバイオマス、地熱も使えばいいと思いますが、資源量がすごく少ない。ヨーロッパでは木は燃やすのではなく建物や家具などにして炭素を固定する方向に行っています。

ただ太陽光の問題は広い土地が必要なことで、日本にはあまり平地がない。でも日本には450万haの農地があり、その1/4強、水田の半分の128万haにSSを設置すれば日本の全てのエネルギーが賄えます。しかも経産省の試算で2030年の発電コストが一番安いのが太陽光。原子力よりも安く、進めようとしている洋上風力は3倍ぐらい高い。少なくとも2030年まではSSを設置するしかないんです。

しかもSSなら農業も続けるので、農地がダブルインカムになって、農業問題も食糧問題もエネルギー問題と一緒に解決できます。みなさんにもご協力いただきたいと思います。広い田んぼとか、農業やりたい若い人がいれば、是非ご紹介ください。よろしくお願いします。

